

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

秦 康夫

2015年7月19日（日）9:30～15:30

- 作業項目：1）登山道周辺の危険木伐採
2）枝打ち
3）ナラ害防止策
4）水切り溝整備・設置
5）台風被害状況巡視（倒木、登山道損壊等）

台風11号通過直後だったので登山道の被害状況や風倒木の状況など、ざっと巡視したが、植林帯の中で斜めになった木が一本目に付く程度で大した被害はないようだった。

東海自然歩道の周辺に、まだ枯損木がかなり残っている。強風で道に倒れてくる恐れもあるので、始末することにした。径34cm程度の太い松が、伐倒後厄介な掛かり木になって苦労したがフェリングレバーを使って片付け、結局計6本程の枯損木を処理した。

先々月、ナラ害防止策として、コナラ数十本に濡れ手ぬぐいとビニールテープを巻きつけたが、自然歩道沿いの東側には手をつけていない。木の根元をみると、カシナガにやられたらしく木粉が見られる。中には径12cmほどの細い木まで被害を受けているようだ。大阪府有林内ではあるが、カシナガ飛来防止のため道脇の数本に処理を施しておいた。

作業の傍ら、また行き帰りの途次、水切り溝の整備も行った。雨のたびに溝が埋まりやすいので、溝の整備は頻繁に行う必要がある。

台風のあとで気象予報も芳しくなく、軽い作業のつもりだったが、次々に手がけるべき作業が出てきて、今日

は全員フル稼働の1日だった。

【参加者】

金井良碩 斧田一陽 中村賢三 武田壽夫 小櫃徹夫
猪川誠 倉谷邦雄 宮本廣 秦康夫 計9名



1) 集合写真



2) 遠景 作業前 自然歩道脇の危険木の伐採作業



3) 作業中



4) 水切り溝整備作業



5) 掛かり木になり、苦勞した松の枯れ木。径 34センチ